

■提言のまとめ

会津には藩政時代、三大藩校の一つとして高い教育水準を誇った藩校「日新館」があり、学ぶことを大切にしてきた土地柄です。その後も四年制大学の誘致は、会津人の長年の悲願であったわけですが、その『会津大学』を中心として、学生だけでなく、たくさんの一般市民が講座に参加することができる貴重な機会が『会津エンジン』です。政治、経済、教育、文化、科学、歴史、環境、食、スポーツ…その他様々な分野で、知的好奇心を刺激し合い、自主的・自発的な学習意欲を育むことで、生涯学習社会の構築を支援する事業です。

地域の人々が自分の人生をより良いものに、また充実したものにしていく為に、学びと気づきを深めていくことは、活力ある地域社会の実現にとって必要不可欠です。

当青年部は、新しい文化的創造をもって、豊かで住みよい地域づくりに貢献し、次代の地域の担い手として、活力ある地域社会の現実に向けて全力で取り組んでおります。

そのためにも、会津の文化的資源を世界に発信し、さらに新たな資源を培う「会津エンジン」の継続的な開催が必要です。ともに学びあう存在感と意義のあるイベントととして定着させていきたいと考えています。

継続開催においては、検討すべき多くの課題がありますが、目的に向かって、課題解決のための努力をしていきたいと思っております。

会津エンジン事業の今後は、当青年部だけの単独取組みではなく、会津若松市、福島県当局をはじめとする各種行政機関、各種学校等の教育機関はもとより、各種団体・企業等や地域のお1人お1人に至るまで、多くの方との連携・協力による体制の構築が欠かせません。その具現化に向けては、とりわけ会津若松市当局の協議のもとに努力していくことが最も重要と考えます。

行動を起こすことこそ、時代を先駆けるべき青年の責務と信じ、力を合わせ地域の礎となることをお誓い申し上げ、提言とさせていただきます。